
第24回
日本家族社会学会大会
プログラム

2014年9月6日（土）・7日（日）

開催校・会場：東京女子大学

大会日程

会場：東京女子大学

▼第1日 2014年9月6日(土)

09:30～	受付開始	9号館 1階ホール
10:00～ 12:30	自由報告(1) ① 女性の就業 ② 教育・親子関係 テーマセッション(1)報告者公募型:日本国内における結婚と家族の地域研究 テーマセッション(2)企画全体提案型: <民主的>家族の再検討	9101 9102 9104 9103
12:30～ 14:00	昼休み *かっこ内は各委員会の会場です。 編集委員会 (9202) 研究活動委員会 (9203) NFRJ委員会 (9204) 庶務委員会 (9205)	
14:00～ 16:30	自由報告(2) ③ 育児支援 ④ 家族に関する規範 テーマセッション(3)企画全体提案型: 子どものいない有配偶・無配偶男女の「子どもをもつこと」について 国際セッション(1): What Are Important Issues in Stepfamily Research? : Perspectives on Social and Cultural Contexts	9101 9102 9103 9104
16:45～ 18:15	総会	24202 [24号館2階]
18:30～ 20:00	懇親会	東京女子大学 同窓会館

▼第2日 2014年9月7日(日)

08:30～	受付開始	9号館 1階ホール
09:00～ 10:30	自由報告(3) ⑤ グローバル化と家族 ⑥ 「親」であること ⑦ 男性の家事・育児 テーマセッション(4)企画全体提案型:ライフイベントと家族 —NFRJ-08Panelによる分析	9101 9102 9103 9104
10:45～ 12:45	自由報告(4) ⑧ 結婚・離婚 ⑨ 中期親子関係・介護 テーマセッション(5)企画全体提案型:親子関係と子育てをめぐる新たな秩序と実践 国際セッション(2): Attitudes of Female Students toward Supporting Elderly Parents in Major Cities in Asia	9101 9102 9103 9104
12:45～ 13:45	昼休み *かっこ内は各委員会の会場です。 編集委員会 (9202) 研究活動委員会 (9203) NFRJ委員会 (9204) 庶務委員会 (9205) シンポジウム打ち合わせ (23200) [23号館2階]	
13:45～ 16:30	公開シンポジウム 「少子高齢化と日本型福祉レジーム」	24202 [24号館2階]

大会プログラム

第1日 9月6日(土)

受付開始(9号館1階ホール)

9:30~

午前部

10:00~12:30

自由報告(1)

①女性の就業(9101)

司会 不破麻紀子(首都大学東京)

①-1 出産・育児期の女性の就業の規定要因
—1960年代・1970年代生まれの女性の就業行動—

西村純子(明星大学)

①-2 女性の子育てを通じた就業意欲継続プロセス

高丸理香(お茶の水女子大学・院)

①-3 中年期未婚女性における家庭内労働と就業

大風 薫(お茶の水女子大学・院)

①-4 被災地復興の為の地域-大学連携事業—宮城県亘理町女性起業家のエンパワーメント—

亀井あかね(東北工業大学)

②教育・親子関係(9102)

司会 片岡えみ(駒澤大学)

②-1 社会関係資本と私的教育戦略—福井県を事例に—

角 能(東京大学)

②-2 教育達成格差の生成メカニズム—きょうだい構成・家族内相互作用が教育達成に与える影響の検討—

苫米地なつ帆(東北大学・院)

②-3 「ヘリ・ペアレント」は日本にいないのか?

Ulrike Nennstiel(北星学園大学)

②-4 着ぐるみキャラクター活用による親子関わりの変化—子育てカフェイベントの観察データから—

石井クンツ昌子

(お茶の水女子大学)

岡村利恵(お茶の水女子大学・院)

テーマセッション(1) 報告者公募型(9104)

日本国内における結婚と家族の地域研究

オーガナイザー・司会

松田茂樹(中京大学)

(1)-1 なぜ富山の第三子出生率は福井より低いのか?

中村真由美(富山大学)

—出生率の地域ブロック内格差とその要因—

(1)-2 地元で生活する子育て中の青年層の状況

永田夏来(兵庫教育大学)

—兵庫県都市部の居住者を対象としたネット調査から—

(1)-3 九州地域における人口性比と人口移動

工藤 豪(埼玉学園大学)

(1)-4 西南海村からみた結婚と離婚の地域性

中島満大

—足入れ婚の変容と持続という視点から—

(神戸大学, 日本学術振興会)

(1)-5 若年女性の人口移動と家族形成

佐々木尚之(大阪商業大学)

—官庁統計とJGSS-2012データのリンケージによる分析—

テーマセッション (2) 企画全体提案型 (9103)

<民主的>家族の再検討

オーガナイザー
司会

久保田裕之 (日本大学)
米村千代 (千葉大学)

- (2)-1 「民主的家族」とは何か
- (2)-2 家族の民主化と脱政治化—合議体としての<民主的>家族—
- (2)-3 有賀喜左衛門の民主化論—「家」の民主化と「家族」の民主化—
- (2)-4 「民主的家族」論の歴史と現在—家族と権力の問題を中心に—
- (2)-5 ゲイカップルの関係性と生活領域における民主主義—意思決定プロセスに着目して—

田村哲樹 (名古屋大学)
久保田裕之 (日本大学)
本多真隆 (慶應義塾大学・院)
阪井裕一郎 (慶應義塾大学)
神谷悠介 (中央大学)

昼食・委員会

12:30 ~ 14:00

午後の部

14:00 ~ 16:30

自由報告 (2)

③育児支援 (9101)

司会 平尾桂子 (上智大学)

- ③-1 専業主婦の母親に対する育児支援の現状と課題
—一時保育をめぐる東京都港区の事例を通じて—
- ③-2 保育所の利用に伴う新家事労働とその課題
- ③-3 地域子育て支援拠点の利用者が支援者との関係を築くプロセス
—配偶者以外による支援に注目して—
- ③-4 子育て支援者のネットワーク促進機能
—NPOでのケーススタディより—

柳田ゆう花 (東京大学・院)
尾曲美香 (お茶の水女子大学・院)
加藤邦子 (宇都宮共和大学)
牧野カツコ (宇都宮共和大学)
遠山景広 (北海道大学・院)

④家族に関する規範 (9102)

司会 千田有紀 (武蔵大学)

- ④-1 英米生殖技術事例にみる「家族性」諸特徴の立体的編成
- ④-2 明治期から戦後初期の医学的言説における人工授精
- ④-3 農村出身労働者における家族規範の形成
—『家の光』都市版の検討から—
- ④-4 ポスト社会主義時代の都市家族における性別役割分業に関する研究
—モンゴル国の首都ウランバートル市を調査対象に—

佐野俊幸 (首都大学東京)
由井秀樹 (立命館大学)
木村未和 (お茶の水女子大学・院)
烏日麗格 (島根県立大学・院)

テーマセッション (3) 企画全体提案型 (9103)

子どものいない有配偶・無配偶男女の「子どもを持つこと」について

オーガナイザー 白井千晶 (静岡大学)

司会 木村治生 (ベネッセ教育総合研究所)

- (3)-1 子どものいない未婚男性における「育児意向」に影響する要因 吉田穂波 (国立保健医療科学院)
- (3)-2 子どものいない有配偶男性における「父親になるタイミング」に影響する要因 竹原健二 (国立成育医療研究センター研究所)
- (3)-3 子どものいない育児意向のある有配偶者の妊娠に向けた活動の実態と意識—「妊活」はどのような人がどのような場合に行っているのか— 持田聖子 (ベネッセ教育総合研究所)
- (3)-4 子どものいない有配偶女性の親なりに対する距離とその要因—「子どもを持つことについての調査」インタビューより— 白井千晶 (静岡大学)

討論者 船橋恵子 (比較社会構想研究所)

国際セッション (1) (9104)

【共催】 ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパン

【協力】 National Stepfamily Resource Center (米国)

このセッションは国際交流基金日米センターによる助成事業の一部です。

What Are Important Issues in Stepfamily Research? :

Perspectives on Social and Cultural Contexts

Organizer Shinji Nozawa (Meiji Gakuin University)

Chair Noriko Iwai (Osaka University of Commerce)

Stepfamily Research in the United States : An Overview and Future Directions	Chelsea Garneau (University of Missouri)
What Is Unique about Stepfamily Dynamics? A Clinical View on American Stepfamilies	Patricia Papernow (Harvard Medical School)
Dimensions of Sub-Cultural Norms in the United States and Potential Implications for Stepfamily Life and Community Education and Practice	Francesca Adler-Baeder (Auburn University/National Stepfamily Resource Center)
Japanese Adult Stepchildren's Views on Stepchild-Stepparent and Child-Parent Relationships in Social and Cultural Contexts	Shinji Nozawa (Meiji Gakuin University)

総会 (24202 [24号館2階])

16 : 45 ~ 18 : 15

懇親会 (東京女子大学同窓会館)

18 : 30 ~ 20 : 00

第2日 9月7日(日)

受付開始 (9号館1階ホール)

8:30～

午前の部1

9:00～10:30

自由報告(3)

⑤グローバル化と家族(9101)

司会 竹下修子(愛知学院大学)

⑤-1 上海における日本人海外駐在員家族の適応と人間関係

叶 尤奇(明治大学・院)

⑤-2 アジア人男性と国際結婚をした日本人女性の家族形成
— 家族のコミュニケーションに日本語を選択する事例 —

開内文乃(中央大学)

⑤-3 滞日ムスリム留学生における世帯構成とハラール食品消費行動

小島 宏(早稲田大学)

⑥「親」であること(9102)

司会 天木志保美

⑥-1 「複合的な差別」を実証する試み

神原文子(神戸学院大学)

— 被差別部落の子づれシングル女性の場合 —

⑥-2 「母になること・母であること」

大久保麻矢

— 発達障害児の母親のライフヒストリーより —

(お茶の水女子大学・院)

⑥-3 見つけられる実親 — デンマークにおける実親の子どもへの養育
義務と責任に注目して —

青木加奈子(奈良女子大学)

⑦男性の家事・育児(9103)

司会 須長史生(昭和大学)

⑦-1 未就学児をもつ共働きの母親におけるマターナル・ゲートキーピングの規定要因と育児不安との関連性

中川まり(カリタス女子短期大学)

⑦-2 父親の子育て・仕事と男らしさ — インタビュー・データからみる性別役割分業と公私領域 —

巽 真理子(大阪府立大学・院)

⑦-3 食事作りからみる既婚男性の家事参加

高山純子(お茶の水女子大学・院)

テーマセッション(4) 企画全体提案型(9104)

ライフイベントと家族 — NFRJ-08Panelによる分析

オーガナイザー・司会 西野理子(東洋大学)

(4)-1 ライフイベントによる性役割態度の変化

多賀 太(関西大学)

(4)-2 家族介護と就労調整

筒井淳也(立命館大学)

(4)-3 退職と夫婦関係の変化

西野勇人(立命館大学・院)

永井暁子(日本女子大学)

討論者 大和礼子(関西大学)

自由報告(4)

⑧結婚・離婚(9101)

司会 片岡佳美(島根大学)

- ⑧-1 若者の恋愛行動と「対人関係能力」
—未婚男女に対するインタビュー調査を通して—
大森美佐(お茶の水女子大学・院)
- ⑧-2 女性の結婚への移行における年齢と規定要因の再検証
—夫婦の【出会い方】に注目して—
茂木 暁(東京大学)
- ⑧-3 大正期『讀賣新聞』「身の上相談」における配偶者選択主体言説
の分析
桑原桃音(龍谷大学)
- ⑧-4 定位家族構造と成人期の離婚行動
齊藤知洋(東北大学・院)
余田翔平(慶應義塾大学)

⑨中期親子関係・介護(9102)

司会 安達正嗣(高崎健康福祉大学)

- ⑨-1 ダイアド集積型家族調査からみた中期親子関係の変化
—2000年・2013年茨木市調査の比較分析—
保田時男(関西大学)
- ⑨-2 娘／息子介護者による介護経験の意味づけ
松井由香(お茶の水女子大学・院)
- ⑨-3 中国の高齢化と地域福祉サービスの展開
—北京市における質的調査を事例に—
郭 莉莉(北海道大学・院)

テーマセッション(5) 企画全体提案型(9103)

親子関係と子育てをめぐる新たな秩序と実践——「血縁」に着目して

オーガナイザー・司会 野辺陽子(東京大学)

- (5)-1 商業的代理出産における「母性」の商品化
—インドの事例を中心に—
日比野由利(金沢大学)
- (5)-2 特別養子制度の生成と変容
—「実親子」をめぐる差異と平等のジレンマ—
野辺陽子(東京大学)
- (5)-3 里親制度の新たな展開——「被支援者」から「支援者」への転換—
和泉広恵(日本女子大学)
- (5)-4 高度経済成長期における社会的養護問題の変遷と「血縁家族」
—「親権問題」および「定員割れ問題」の系譜を中心に—
土屋 敦(徳島大学)

討論者 松木洋人(東京福祉大学)

国際セッション (2) (9104)

Attitudes of Female Students toward Supporting Elderly Parents in Major Cities in Asia

Organizer & Chair Yoshiko Someya

(Tokyo Woman's Christian University)

Overviews of Comparison among Six Asian Cities

Yoshiko Someya and Satoko Hori
(Tokyo Woman's Christian University)

Changing Perceptions Towards Caring for Aging Parents at Home : A Comparison
Between Japanese and Singapore Female University Students

Leng Leng Thang
(National University of Singapore)

Attitudes of Female Students in Supporting Elderly Parents : A Comparison of
Hong Kong and Japan

Alice Ming-Lin Chong
(City University of Hong Kong)

Elderly Care and Social Security in Malaysia

Rahimah Binti Ibrahim, Chai Sen
Tyng, and Tengku Aizan Hamid
(University of Malaya)

昼食・委員会

12 : 45 ~ 13 : 45

午後の部

13 : 45 ~ 16 : 30

公開シンポジウム (24202 [24号館2階])

【共催】日本学術会議社会学委員会少子高齢社会分科会

「少子高齢化と日本型福祉レジーム」

司会 藤崎宏子 (お茶の水女子大学)

久保田裕之 (日本大学)

趣旨説明

家族政策とレジーム転換の政治

日本の社会政策は就業や育児を罰している

労働レジームの転換と家族

ケア政策における家族の位置

渡辺秀樹 (帝京大学)

宮本太郎 (中央大学)

大沢真理 (東京大学)

服部良子 (大阪市立大学)

下夷美幸 (東北大学)

討論者 落合恵美子 (京都大学)

閉会

16 : 30

連絡事項

1. 参加登録及び参加費等の事前納付

● 大会参加登録について

大会参加を希望される会員は、出来る限り、事前に参加登録と参加費等の納付を済ませてください。
Web が利用できる環境の方は、日本家族社会学会第 24 回大会ホームページ（日本家族社会学会ホームページより入る）から登録できます。ログイン名とパスワードが必要です。ログイン名は、学会からの送付物のタックシールに記載されている番号（数字 8 桁；上 4 桁は数字の 0、下 4 桁は会員名簿に記載されている数字）です。パスワードが不明な場合は、「会員専用ページ」から問い合わせてください。

Web が利用できない環境の方は、同封されている登録票を用いて、ファックスまたは郵送で登録をお願いします。送信・郵送先は、日本家族社会学会大会ヘルプデスク（Fax: 03-5227-8632、〒162-0801 新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター）です。

● 大会参加費・懇親会費・お弁当代の事前納付について

事前納付は、同封されている郵便振替票（00110-7-512376、加入者名・日本家族社会学会大会）を用いての振込、あるいは、オンラインでの参加登録の際にカードでお支払いください。オンラインで参加登録されるときに、「決済方法」を「クレジット」にチェックすると、参加登録と事前納付が同時にできます。

なお、参加登録を当日行い、その場で支払うこともできますが、当日の受付業務の軽減のためにも、事前の参加登録と参加費等の納付をお願いします。事前登録された方には、ネームカードを用意します。事前に納付される方は、以下の通り、参加費等が割引となります。事前に登録されても、期限までに納付されない場合は、当日払いの費用になりますので、ご注意ください。

<<郵便振込みの場合>> *手数料は本人負担となります（以下は手数料抜きの値段）。

郵便振替口座番号：00110-7-512376 加入者名：日本家族社会学会大会

一般：大会参加費（事前納付 3,500 円、当日払い 4,500 円） *要旨集代含む

懇親会費（事前納付 4,000 円、当日払い 5,000 円）

学生・会費減額申請が承認された会員：

大会参加費（事前納付 2,500 円、当日払い 3,000 円） *要旨集代含む

懇親会費（事前納付 2,500 円、当日払い 3,000 円）

*一般・学生ともに、1 日目、2 日目の弁当代（お茶付）は各 1,000 円です。

（弁当代の予約は事前納付の場合のみ可能）

<<カード払いの場合>> *手数料は本人負担となります（以下は手数料込の値段）。

一般：大会参加費（事前納付 3,675 円） *要旨集代含む

懇親会費（事前納付 4,200 円）

学生・会費減額申請が承認された会員：

大会参加費（事前納付 2,625 円） *要旨集代含む

懇親会費（事前納付 2,625 円）

*一般・学生ともに、1 日目、2 日目の弁当代（お茶付）は各 1,050 円です。

（弁当代の予約は事前納付の場合のみ可能）

2. 事前登録・事前納付の期限

- 大会参加の事前登録と参加費等の事前納付の期限は、次の通りです。

	参加登録期限	参加費等事前納付期限
①Webによる参加登録 +郵便振替による納付	8月18日(月)	8月18日(月)
②登録票送付(faxもしくは郵送) +郵便振替による納付	8月15日(金) 大会ヘルプデスク必着	8月18日(月)
③Webによる参加登録 +カード支払い	8月20日(水)24時まで	8月20日(水)24時まで

- ①の場合は、Web上の参加登録及び郵便振替による参加費等の納付ともに締切は8月18日(月)です。
- ②の場合は、郵便振替による参加費等納付の期限は①と同じく8月18日(月)ですが、登録票の郵送もしくはファックス送信の期限は8月15日(金)です。お間違えのないようにお願いします。
- ③の場合は、Web上で参加登録と参加費等の納付を同時に行うことになります。その期限は8月20日(水)24時です。
- いずれの方法を採られる場合も、上記の期限は厳守してください。とくに期限を過ぎた参加費等の納付は「事前納付」とはみなさず、大会受付で、当日料金との差額をいただきます。
- いずれの方法であっても、参加費等を事前納付された後は、万一、大会にご出席できなくなっても、参加費の払い戻しはできません。報告要旨集は後日郵送いたします。
- 常勤職にないなどの理由による会費減額申請の受付は2014年5月31日に終了しています。現段階で承認を受けている方のみが学生会員と同じ料金設定になります。
- 非会員で参加をご希望の方は、参加費等の事前納付の対象にはなりませんので、大会当日に受付までお申し出ください。非会員の方の参加費は、報告要旨集を含んで、一般4,500円、学生3,000円、懇親会費は一般5,000円、学生3,000円です。
- 大会の参加受付は、第1日目(9月6日)は午前9時30分、第2日目(9月7日)は午前8時30分からです。

3. その他の注意事項

- 警備の関係から、大学構内に入校される際に正門で簡単なチェックを行います。この大会プログラムを必ずご持参のうえ、警備員もしくは大会関係者にご提示ください。
- 報告要旨集**
大会当日受付でお渡しいたします。また、9月3日(水)には大会ホームページ上で公開いたしますので、事前にご覧になりたい方はアクセスしてください。
- 懇親会**
大会第1日目(9月6日)午後6時30分より、東京女子大学同窓会館にて懇親会を開催いたします。ご参加いただければ幸いです。なお、懇親会費につきましても、ご欠席の場合の払い戻しはいたしませんので、ご了承ください。
- 昼食について**
事前の参加手続きの際に、お弁当のご予約を承ります。お弁当を希望される方は、大会参加費とともに事前納付をお願いします。大会当日のお弁当のご注文はお受けできませんので、ご注意ください。なお、大会両日とも学食・購買センターは営業していません。お弁当を申し込まれない方は、各自昼食をご用意ください。大学の正門近くにはコンビニエンスストアがあります。
- 宿泊について**
開催校のほうで情報提供はいたしませんので、各自お手配ください。

4. 研究報告者および司会者の方々へ

- 自由報告の報告時間は20分、質疑応答は5分です。報告者と司会者は、部会開始10分前に会場の前方に集合してください。報告者はご自身の報告開始時間のいかんにかかわらず、この時間に集合し、配布資料を会場係の学生にお渡しください。報告者は部会終了まで教室に留まってください。
- 大会当日の配布資料について**
自由報告は80部、テーマセッション報告は150部を各自でご用意ください。会場でのコピー・サービス、配布資料の会場への事前送付には対応できませんので、ご了承ください。
- 自由報告・テーマセッションの司会者の方へのお願い**
参加者の便宜のため、報告者の進行時間を厳守してください。当日報告者に欠席が生じた場合は、報告者の順番を詰めて進め、欠席があったことを会場入り口に掲示してください。
- PowerPoint等の使用に関する注意事項**
 - 開催校では、プロジェクタに接続済みのノートパソコン(Windows 7, Microsoft Power Point 2010)をすべての報告会場の教室に用意します。
 - Microsoft-Power Point 2007または2010のpptxもしくはppt形式、あるいはPDF形式で保存したデータをUSBメモリに記録してお持ちください。
 - 機器を使用する報告者は、部会開始15分前に報告会場となる教室におこしください。機器使用に関する準備・打ち合わせなどを行いません。
 - 開催校ではできるかぎり準備と協力をいたしますが、機器操作の結果につきましては報告者の自己責任でお願いします。万が一機器が作動しない場合に備えて、複写して配布可能な印字原稿を用意いただくなど、次善の方策もお考えください。
 - どうしてもご自分のパソコンを持ち込んで使用なされたい場合には、通常のミニ D-Sub 15ピン・メス型コネクタが装備されていることをご確認ください。アダプタが必要な場合はご自身でご持参ください。また当日は接続に多少の時間がかかることを見込んで準備をお願いします。
 - レーザーポインタなど、他に必要とされる機器はご自身でご用意ください。

5. 大会期間中の託児室の設置について

- 大会期間中、東京女子大学内に託児室を設置します。保育担当事業者は、「NPO法人保育サービスつくしんぼ」(www.tukushinbo.com/)です。託児室の設置・運営費用は学会会計によりまかなわれますが、その一部を利用料ということでご負担いただきます。利用料は、お子さんお一人につき1日2,000円(半日1,000円)です。学会員以外の方もご利用になれます。

利用時間 9月6日(土) 9:30~18:30(12:00~13:30を除く)

9月7日(日) 8:45~17:00(12:00~13:30を除く)

対象年齢 0歳から満10歳までの児童

● 申し込み方法

保育を希望される方は、①~⑤の内容を必ずご記入の上、8月29日(金)までに、下記宛にお申し込みください。事前に、保育士と保護者の間で持ち物やお子さんの保育に必要な情報を交換したり、遊びの計画を立てたりしますので、できるだけ期日までにお申し込みください。

①保護者氏名、②お子さんのお名前(ふりがな)と年齢・月齢、③アレルギーの有無、④託児室利用についての連絡先：電話番号(当日、緊急連絡が可能な番号)とメールアドレス、⑤保育希望の日時(何日の何時から何時まで保育を希望するか)

申込み先:大会実行委員会事務局メールアドレス jsfs-taikai@kokusaibunken.jp

注:お子さんの昼食(おやつ、飲み物を含む)は保護者をご用意ください。

当日のキャンセルには、キャンセル料(全額)がかかることをご了承ください。

6. その他

- 当日、抜き刷り交換コーナーを設けますので希望者は8月29日(金)までに大会実行委員会事務局に連絡ください。なお当日の抜き刷り冊子の管理(展示、撤収など)については各自の責任で行ってください。例年同様、出版社に書籍・雑誌を展示・販売いただくコーナーも開設いたします。

- 大会に関してご不明な点などありましたら、大会実行委員会事務局（jsfs-taikai@kokusaibunken.jp）宛にメールにてお問い合わせください。
- 大会ホームページ（<http://www.wdc-jp.com/jsfs/conf/2014/index.html>）にも同様の内容を掲載しています。

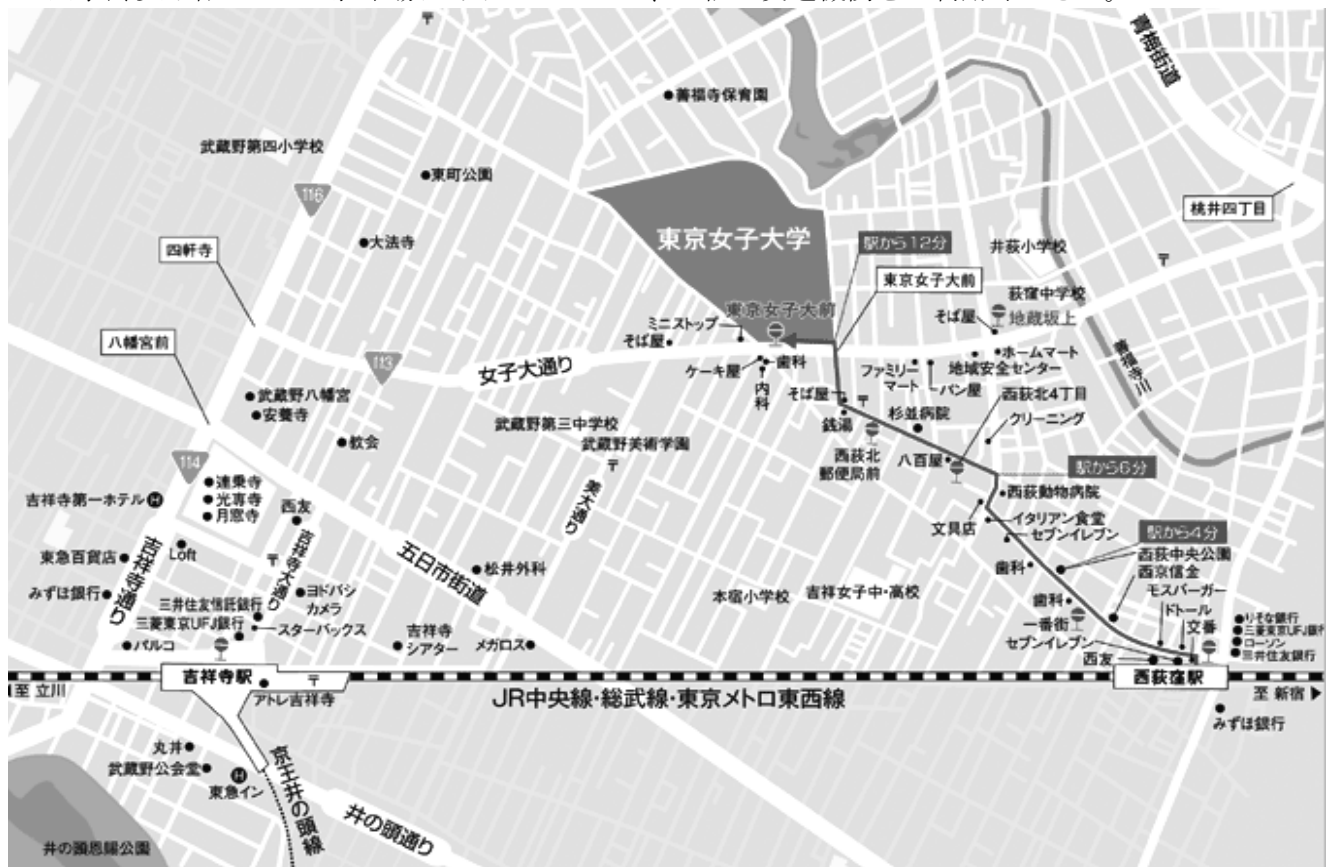
会場案内

【会場・連絡先】

大会実行委員会事務局：東京女子大学現代教養学部 染谷研究室
〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1 jsfs-taikai@kokusaibunken.jp
大会本部（大会当日）：9号館 2階 9202教室

【会場へのアクセス】

- 西荻窪駅（JR中央線・総武線、東京メトロ東西線乗り入れ）から
 - 北口より徒歩12分
 - 北口（1番のりば）より吉祥寺駅行バスで「東京女子大前」下車
注：特別快速・通勤快速は西荻窪駅には停車しません。
土・日・祝日には中央線快速は停車しません。総武線または東西線をご利用ください。
- 吉祥寺駅（JR中央線・総武線、京王井の頭線）から
 - 北口（1番のりば）より西荻窪駅行バスで「東京女子大前」下車
注：JRの場合、北口方面へは中央改札のご利用が最も便利です。
※学会参加者のための駐車場はありませんので、上記の交通機関をご利用ください。



【大会実行委員】

実行委員長：染谷 倭子（東京女子大学）

実行委員：岡村清子・金野美奈子（東京女子大学）、魚住明代（城西国際大学）、堀聡子（東京女子大学）